

2026年5月27日

各 位

株式会社ふくいキャピタルパートナーズ  
株式会社福井銀行

ふくいスタートアップ支援第1号ファンド『愛称：minori～みのり～』  
第3号案件として、株式会社 ReNu Industries への投資実行

株式会社福井銀行（頭取 長谷川 英一）のグループ会社である株式会社ふくいキャピタルパートナーズ（代表取締役 小林 令）は、無限責任組合員として運営するファンド『ふくいスタートアップ支援第1号投資事業有限責任組合「愛称：minori～みのり～」』（以下、当ファンド）を通じ、第3号案件として、株式会社 ReNu Industries（読み：リニューインダストリーズ 以下、ReNu 社）に投資を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

### 1. 投資先の概要

商号	株式会社 ReNu Industries
所在地	福島県双葉郡大熊町下野上清水 230 (大熊インキュベーションセンター内)
代表取締役	高橋 遼平
設立	2025年12月19日
主な事業内容	・原子力発電所の廃止措置、エンジニアリング ・原子力関連企業の事業承継 ・新技術開発

コーポレートサイト: <https://renu-industries.com/>

ReNu 社は、原子力発電所の新設から廃止までの原子力ライフサイクル全体を手掛けられる総合原子力メーカーとなることを目指すスタートアップ企業です。

現在、国内には福島第一原子力発電所をはじめ廃止を決定している原子力発電所が多数存在し、廃止措置への取り組みはエネルギー安全保障上の重要課題となっています。しかしながら、廃止措置は長期にわたる複雑なプロジェクトであるがゆえに担い手不足が深刻であり、新技術の導入や業界横断的なアプローチなど、従来の枠を超えた手法が求められています。

ReNu 社はこうした課題に正面から向き合い、「廃止措置事業を起点とした市場参入」と「AI によるプロセス革新」を事業戦略の柱に据えています。また、後継者不在に悩む原子力関連事業者の事業承継を積極的に推進し、各事業者の特性に配慮しながら経営統合を図ることで、技術の継承と進化、そして原子力サプライチェーンの強化を実現していきます。

## 2. 投資の背景

福井県は日本を代表する原子力発電所の立地県であり、原子力発電所とともに歩み、発展してきた歴史があります。しかし、2011年以降の稼働停止や、事業者の高齢化等により、県内の関連事業者がこれまで培ってきた原子力関連技術の継承が困難となりつつあり、廃止措置の推進と並んで地域の重要課題となっています。

ReNu社は、「廃止措置市場から日本の原子力産業を再興する」というビジョンを掲げ、原子力分野における豊富な実績と知見を持つ経営チームのもとで設立された会社です。当ファンドは、ReNu社の事業が有する社会的意義の高さへの共感、および福井県の原子力産業の活性化への期待から、今回の出資を決断いたしました。

### 〈当ファンド概要〉

名称	ふくいスタートアップ支援第1号投資事業有限責任組合 「愛称：minorい～みのり～」
ファンド総額	10億円
設立年月日	2025年4月24日
投資方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域価値循環モデルの実現を運用理念として掲げ、ファンドの使命である投資先の企業価値向上によりもたらされる利潤の確保と同等に、地域経済の発展、成長を重んじる投資を行います。</li><li>・ 新規性、革新性のあるビジネスに取り組むスタートアップ企業に対して戦略的に投資を行い、投資先企業の企業価値向上を図ります。</li></ul>

以 上